

コロナむし歯が増えている!?

★ コロナ禍より、生活が変化した人も多いと思います。そのことで色々な問題が起きています。
 2021年1月13日 テレビ朝日のニュースで『コロナむし歯』が取り上げられていました。
 さて…『コロナむし歯』でなんででしょうか？

コロナむし歯の原因①

家で過ごす時間が増え、間食・ダラダラ食べが増え、口の中の環境が悪くなってしまふ。

①の理由として…

私達のお口の中にあるむし歯菌は砂糖を食べると酸を出します。その酸によって歯が溶けていきます。ずっとその状態していると、歯の表面が溶ける時間が長くなります。
 ダラダラ食べをすること=歯が溶け、むし歯になる
 ということです。時間を決めることが大切です!



コロナむし歯の原因②

コロナ感染を恐れて、必要な歯科受診を控える。

②の理由として…

むし歯は歯医者さんで治療をしないと治りません。自然には治らないんです。
 放置しておくとも必ず進行して悪化していきます…痛くなる前に行きましょう!



まちがいさがしをしてみよう!

5つあるよ!

こた 答えは 保健室の 前 にあります!



保護者の皆様へ

感染症から生まれる差別・偏見を

どうなくしていくかを考える保健指導をおこないました

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、学校を含めた日常の生活にも、一部に制限があったり、新しい工夫が求められたりする状況が続いております。

今までとは違う生活形式に変化していく中で、感染症に対する不安や感染者などへの差別・偏見などが社会問題となっているのも事実です。

学校でも、感染予防を続けていきますが、新型コロナウイルス感染症には誰もがかかる可能性があることを前提に、身近な誰かが感染してしまったことを考慮した対応も必要となってきています。

そこで今回、日本赤十字社監修の「新型コロナウイルスがもたらす3つの”感染症”」の考え方をもとに、新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見について考える保健指導を実施しました。

3つの“感染症”とは？

- ① “病気”そのものの感染症
- ② “不安”という気持ちの感染症
- ③ “差別・偏見”という意識の感染症

この3つの感染症が負のスパイラルとしてつながることで、さらなる感染拡大や、社会問題の深刻化へとつながっていきます。

負のスパイラルを断ち切るためにできること

① ウイルスの感染をひろげないために…

まずは 手洗い・咳エチケットの徹底、3密を避け、自分自身の感染症予防を徹底しておこなう。

② 不安にふりまわされないために…

情報源のはっきりしないうわさ話はしない・広げないこと

③ 差別や偏見をひろげないために…

「体調が悪い。」と言出しにくい空気をつくらず、『誰でも感染する可能性があるということを忘れない』



保健指導でお子さんたちが視聴した動画をこちらで限定公開しています。ぜひ、おうちのかたもご覧になっていただき、感染症に関わる社会問題について、ご家庭でも話し合ってみてください。

文科省公式



ご家庭でもご協力をお願いします。

新型コロナウイルスのニュースを見ながら、「東京から来ないでほしい。」「あそこの人コロナになったらしいわよ。怖いよね。」など何気なく発した言葉を子どもたちは聞いています。

この感染症に対する大人たちの反応は、子どもたちの受け止め方にも大きく影響します。学校でも、今回の保健指導をはじめ継続して指導していきますが、ご家庭でも子どもたちが感染症への正しい理解のもとに適切に行動できるよう、ご協力よろしく願いいたします。